

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

<圏域内の市町が抱える地域課題や大学等に期待する取組>

区分	テーマ	地域課題の概要
② ICT環境の整備・有効活用	AI、ICTを活用した行政事務等の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 行政に対する需要の多様化により、一層の業務効率の向上が求められている。 急激なデジタル化により取り残される者が無いうよう、適切にデジタルデバイト対策を講じながら、ICTの活用による市民サービス向上を図る必要がある。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
竹原市	小規模自治体においては、少量で多岐にわたる行政事務等へのAI、ICT利活用のメリットを見出すことが難しい。	広域での導入及び活用方法について検討していただきたい。
大竹市	本市自体のデジタル化が遅れているため、市民向けのサービスのデジタル化に進めない。	市民のデジタル化した市役所へのニーズ把握の手法を検証していただきたい。
東広島市	市民ポータルをはじめとした様々な市民サービスを展開しているが、情報技術に不慣れな方々へ浸透しない。	効果的なデジタルデバイト対策や、情報技術を活用したサービスを浸透させるための方策等を提案していただきたい。
江田島市	本市では、公式LINEを活用した様々な市民サービスを展開しており、行政事務の効率化を進めている。一方、デジタルに不慣れな方が取り残されることのないよう、スマホ教室や、プログラミング教室等を開催している。	島内の子ども（小学生）向けのプログラミング教室の企画及び学習支援につながる取組を検討していただきたい。
熊野町	人的リソースの制約によりAIをはじめとしたデジタルツール活用によるBPRの検討が出来ていない。	既存のデジタルツールを如何に幅広く利用してもらえる環境を構築するか、民間企業等との連携も視野に入れたデジタルデバイト対策の観点から検討していただきたい。
坂町	本町でも電子申請等の情報通信技術の活用が進んでいくなかで、電子機器を使いこなすのが難しい住民を取り残すことがないよう配慮しながら行政運営を行う必要がある。	電子機器を使いこなすのが難しい住民を取り残すことがないような仕組みを検討していただきたい。
世羅町	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化に向けた十分な取組ができていない。 急激な情報化により取り残される者が発生しないための取組が十分でない。 	効果的な施策に関する助言及び情報提供等をしていただきたい。
周防大島町	行政に対する需要の多様化により、一層の業務効率の向上が必要となる一方、急激な情報化により取り残される者が無いうよう、住民の視点に立った行政運営が必要となっている。	AI、ICTを活用した行政事務の効率化を検討していただきたい。
上関町	AI、ICTを活用し事務等の効率化を目指すところではあるが、まだ導入するための土台ができていない状態である。	今後、AI、ICTを導入した際に、効率化を図るべき業務やその実現方法を検討していただきたい。
田布施町	デジタルデバイト対策の事業（民間事業者による高齢者向けのスマートフォン教室）を実施しているが、参加者以外の町民ニーズが把握できていないため、町民に必要とされる事業内容への改善を図る必要がある。	地域において、それぞれの地域で必要とされているデジタルデバイトの課題等を調査し、改善のための取組を検討していただきたい。
川本町	川本町は人口減少と特に高齢化が進んでおり、定期的にスマホの講習会等を開催している。このように取り残される者がいないよう取り組んでいる。	高齢者へより伝わりやすいAI、ICTの説明方法を検討していただきたい。